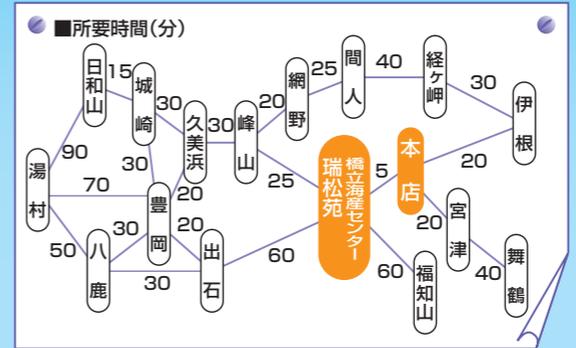
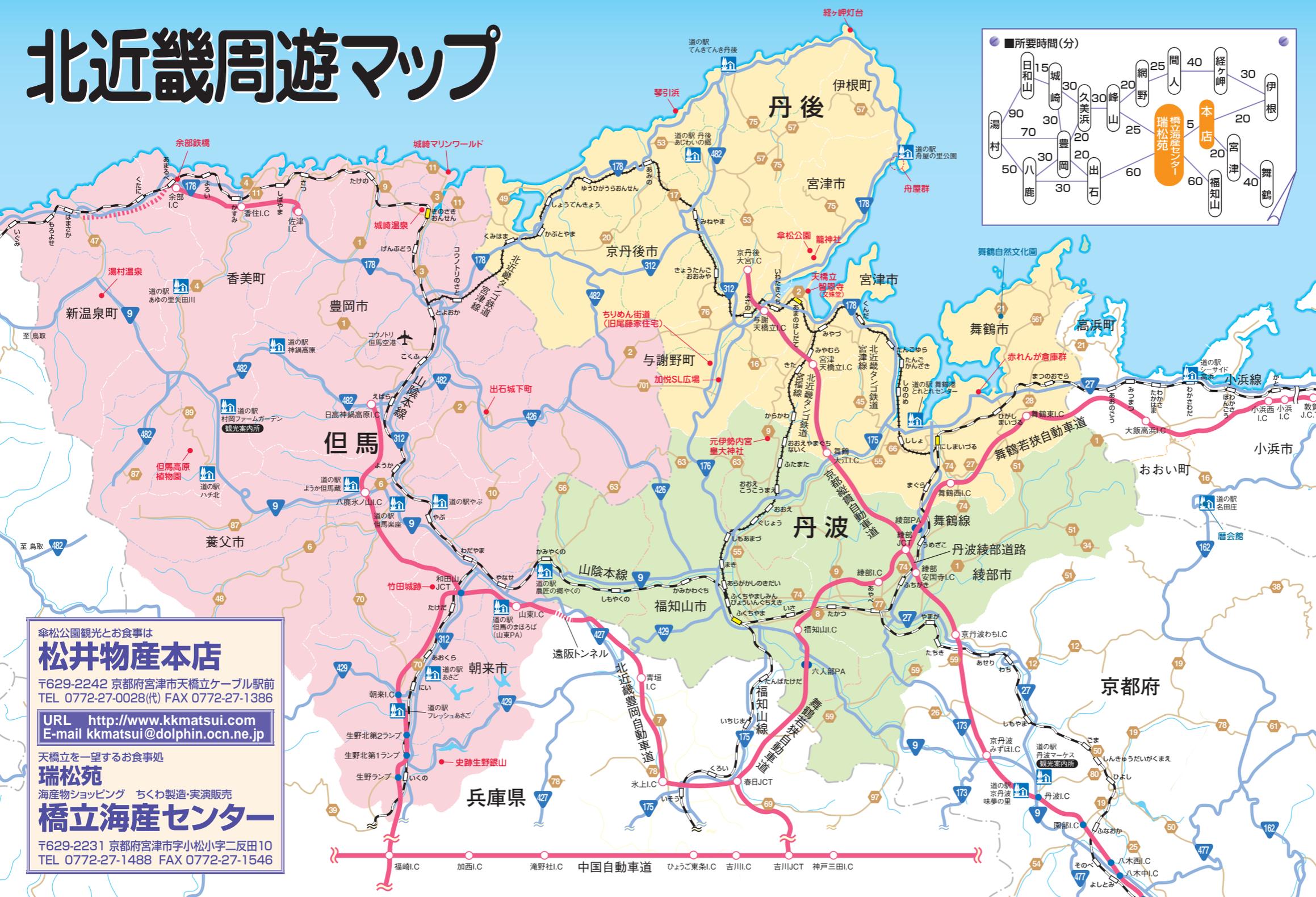


# 天橋立散策マップ

# 北近畿周遊マップ



**天橋立** みちのくの松島、安芸の宮島とともに日本三景のひとつ。長さ3.3km、幅20m~170mのこの「砂と松の橋」は、眺める位置によりさまざまな景観を呈しているのが特色で、北の傘松公園からは斜め一文字の姿を観ることが出来る。



このじんじゃ 文殊堂の対岸にある「丹後一の宮」。丹後・丹波地方では最高の格式で、天水分神をまつっている。国宝、重要文化財も数多く保存されている。



なりあいじ 西国三十三霊場二十八番札所。本尊は正観世音菩薩の秘仏。巡礼姿の参詣者が一日中あとを絶たない。



傘松公園観光とお食事は  
**松井物産本店**  
 〒629-2242 京都府宮津市天橋立ケーブル駅前  
 TEL 0772-27-0028(代) FAX 0772-27-1386  
 URL <http://www.kkmatsui.com>  
 E-mail [kkmatsui@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:kkmatsui@dolphin.ocn.ne.jp)  
 天橋立を一望するお食事処  
**瑞松苑**  
 海産物ショッピング ちくわ製造・実演販売  
**橋立海産センター**  
 〒629-2231 京都府宮津市字小松小字二反田10  
 TEL 0772-27-1488 FAX 0772-27-1546

かさまつ 府中からケーブルまたはリフトの終点近くの公園。傘の形をした老松があることからこうよばれている。ここからの天橋立への眺望はすぐれ、「股のぞき」の名所。



ちおんじ 天橋立の廻旋橋のもとにあり、俗に「智慧の文殊さん」として有名な古刹。大同3年(808)平城天皇が創建されたと言われ、延喜4年(904)には醍醐天皇が山寺号、寺領を賜い勅願寺とした。国の重要文化財指定の多宝塔や日本三文殊の一つに数えられ、脇土2体も国の重要文化財に指定されている。



かいせんきょう 文珠と小天橋をつなぐ橋で大きな船が通るときは橋をぐるりと回し、船に水路をゆずる。昔は2人がかりの人力で回していた。与謝野晶子はそのさまを「人おして廻旋橋の開く時黒くも動く天の橋立」とうたっている。昭和35年電動式となった。

